

# 犯罪実行者募集の実態 ～ 少年を「使い捨て」にする「闇バイト」の現実 ～

## ■ 「闇バイト」に応募し犯罪行為に加担するまでの基本的なパターン

- ① 自らSNSで「**高額報酬**」等を検索して応募
- ② 犯行グループから連絡が入り、**匿名性の高いアプリ**（Telegram、Signal等）をインストールさせられ、以後、これらのアプリを使ってやりとり
- ③ 犯行グループから言葉巧みに個人情報を求められ、言われるがまま**運転免許証等の身分証明書の写真をアプリで送信**
- ④ 仕事内容（犯罪行為）が明らかにされ、拒否すれば**個人情報を基に脅され、犯行グループから抜け出すことができずに捕まるまで犯行に加担**

### 【CASE】

- ・ Twitterに「お金に困っている」旨の書き込みをしたら、犯行グループから「働いてみないか。大金を稼げる仕事がある」などのメッセージが届いた。
- ・ 仕事を探していたら、先輩・知人等から「闇バイト」を紹介された。
- ・ 先輩がSNSで見つけてきた「闇バイト」に誘われて一緒に加担した。
- ・ 遊興費欲しさにSNSで知り合った者に「金を貸して欲しい」旨の相談をしたら、「銀行協会の委託の仕事を紹介する」などと言われ、犯行グループを紹介された。

# 犯罪実行者募集の実態 ~ 少年を「使い捨て」にする「闇バイト」の現実 ~

## ■ 犯行グループによる脅迫行為と犯罪行為への加担

「受け子」などの犯行グループの末端として仕方なく犯罪行為に加担

たった一度でも犯罪行為に加担すれば犯行グループからの離脱は困難  
(犯行グループは個人情報に基づき少年たちを何度も脅迫)

何度も犯罪行為をやらされ、逮捕されるまで使われ、逮捕されれば見捨てられる  
(犯行グループは自分たちが逮捕されないよう少年たちを「捨て駒」として利用)

### 【CASE】

- ・ 警察に捕まるリスクが大きいと思い断ると「自宅に押し掛ける。母親から狙う」と脅され、仕方なく「受け子」をやった。
- ・ 途中で詐欺だと気づき、「辞めたい」と言ったら「家族全員殺すぞ」などと脅迫されて、「受け子をやらざるを得なかった」
- ・ 「受け子」をして得た現金を別の犯行グループに横流ししたら、自身や実父へ架電された後、実家に押し掛けられた。

# 犯罪実行者募集の実態

～ 少年を「使い捨て」にする「闇バイト」の現実 ～

## ■ 「使い捨て」にされる少年たち

目先の遊興費を得るため安易な考えで  
応募した結果、取り返しのつかないことに...

### 【CASE】

- ・ 犯行グループから「金が必要になった」などの理由をつけられ、言われるがまま指定された口座に「受け子」をして得た報酬を全て振り込まされ、結局、一円も手にすることができな  
かった。
- ・ 犯行グループから「報酬は後でまとめて払う」などと聞いていたが、結局、報酬が支払われ  
ることはないまま逮捕された。
- ・ 「受け子」としてキャリアケースを持って全国を転々とさせられた。逮捕されるまで家にも  
帰れず、ホテルや漫画喫茶に寝泊まりしながら犯行を続けていた。
- ・ 犯行グループから呼び出され、理由が分からないままペナルティなどと称して、報酬を上回  
る金を巻き上げられた。さらに、犯行グループの一員が金を持ち逃げしようとしたため、密告  
され逮捕された。
- ・ 警察官がサイバーパトロール中、「詐欺犯罪者」とコメントの付いた顔写真や身分証明書の  
画像がツイートされているのを発見した（「闇バイト」に応募した後、犯行グループから離脱  
した者に対する制裁行為と思われる）。

# 犯罪実行者募集の実態

～ 少年を「使い捨て」にする「闇バイト」の現実 ～

## ■ 検挙された少年たちの声

少年たちは「闇バイト」に応募し、  
犯罪行為に加担したことを後悔...

### 【CASE】

#### ● どのような情報があれば犯行を思いとどまることができたか

- ・ 「闇バイト」が犯罪実行役の募集であることやその仕組み、流れ。
- ・ 個人情報握られ、自分だけでなく家族も脅迫されることで、犯行グループから抜け出せなくなってしまうこと。
- ・ 警察に捕まるリスク、刑の重さや罰金額。捕まれば少年院に行かなければならないこと。

#### ● 犯行前後の心境・同じ過ちを犯さないようにするために伝えたいこと

- ・ やりたくないけど後には引けない。警察に捕まったらどうしよう。
- ・ 犯行グループから脅されて抜け出せなかった。後悔している。
- ・ 捕まってしまったことで家族にも迷惑をかけてしまった。
- ・ 家族に相談すればよかった。止めてくれて（捕まえてくれて）ありがとうございます。
- ・ 今後も犯行グループからしつこく誘われないうか、家族に影響が及ばないかと思うと不安で仕方ない。
- ・ 犯行グループからは「パシリ」のようにしか思われていないのが現実。
- ・ 「闇バイト」に手を染めれば必ず捕まる。家族に相談するなどして勇気を持って断ってほしい。

# 犯罪実行者募集の実態 ~ 少年を「使い捨て」にする「闇バイト」の現実 ~

## ■ 児童生徒に対する指導時の3つのポイント

### 1 応募しない

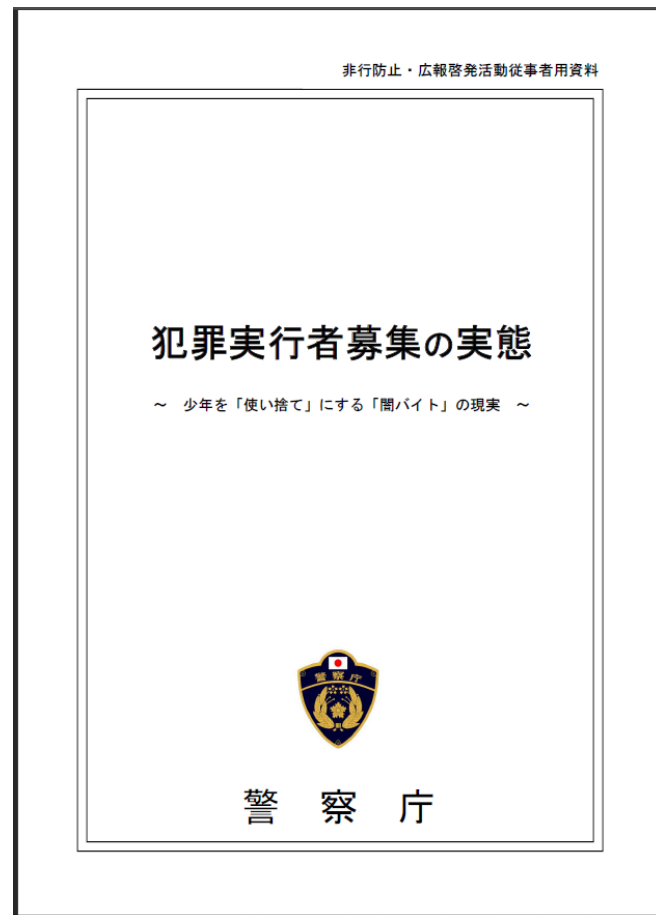
検挙された後に待ち受ける悲惨な現実について具体的に指導※1

### 2 途中で踏みとどまる

特徴、傾向を知ることが見破るポイント。特に個人情報を渡すまでが重要

### 3 相談する

気付いた時点で警察（少年相談窓口・少年サポートセンター等）に相談※2



※1 非行防止教室を開催する際は、お近くの警察署・少年サポートセンターに御相談ください。

※2 警察相談ダイヤル#9110又はお近くの警察署までご相談ください。また、都道府県警察本部では少年相談窓口を開設しています。